

橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願いします。

研究課題名	日本での遷延性および慢性咳嗽患者における診療実態に関する多施設共同前向き観察研究
研究担当者	橋本市民病院 呼吸器内科 藤田 悦生
目的・概要	咳嗽は日常診療において、最も多くの受診原因となる主訴の1つであり、日常診療において、極めて重要な症状である。遷延性および慢性の咳嗽は結核や肺がんなど見落としはいけない疾患を含み、睡眠や日常生活の質を落とし、社会生活や生産性を阻害する。加えて、遷延性および慢性の咳嗽は治療可能な多くの疾患を含むため、正確な診断に基づく正確な治療が重要となる。過去に限られた地域についての臨床研究はあるものの有効な治療内容を考慮した正確な診断やそこに至る診断成功率を考慮した全国規模での臨床研究はまだ行われていない。このため遷延性および慢性の咳嗽を主訴に来院した症例を全国規模で集積し、その原因疾患を検討することは意義があると考えられる。
研究対象 実施機関 実施場所等	1) 同意取得時において年齢が16歳以上の者(性別は問わない) 2) 以下と定義される遷延性または慢性咳嗽患者 ① 3週間以上8週間未満の遷延性咳嗽または8週間以上持続する咳嗽を主訴とする慢性咳嗽 ② 胸部単純X線検査やスパイスメトリーなどの一般検査や身体所見では原因を特定できない咳嗽
研究期間	2020年7月16日～2023年12月31日
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報保護の保護等	本研究への参加にあたり十分な説明を受けた後、十分な理解の上、本人の自由意思による文書同意が得られた者
備考	